

# ハーブと野菜の共生効果 相対表

作成日 2017/10/11

野菜 ハーブ		ナス科				アブラナ科				イネ科	ユリ科		バラ科	セリ科	ウリ科					アカザ科	ハーブと野菜の共生効果
		トマト	ナス	ジャガイモ	ピーマン	カリフラワー	キャベツ	ブロッコリー	カブ	トウモロコシ	アスパラガス	タマネギ	イチゴ	ニンジン	カボチャ	メロン	スイカ	キュウリ	ズッキーニ	ホウレンソウ	
ユリ科	チャイブ	○	○	○										○	○	○	○			病気の発生や媒体となるアブラムシなどの害虫発生を防ぎます。	
ノウゼンハレン科	ナスタチウム	○	○		○		○										○			アブラムシの寄り付きを避け、てんとう虫などの益虫を呼び寄せる働きがあります。	
ムラサキ科	ポリジ											○								花はミツバチを呼び寄せ、茎や葉はアブラムシを集めテントウムシの幼虫・成虫の住処となり、相互の受粉を助けながら生育が向上します。	
シソ科	オレガノ																○			風味が良くなります。	
	セージ	○					○					○	○							モンシロチョウの産卵を防ぐと共に、作物の風味を向上させます。	
	タイム	○					○											○		生殖に欠かせない虫媒(蜂)を呼び寄せ受粉を助けると共に、モンシロチョウを防除します。	
	バジル	○						○		○										アブラムシ、アオムシなどの発生を減らし、蚊やハエを避けて成育を助けます。	
	ヒソップ						○													モンシロチョウを避ける働きがあるので、産卵による青虫の発生が減少します。	
	ミント							○												アオムシやアブラムシなどの害虫が減り、風味が向上します。	
	ローズマリー						○							○						根に発生する土着菌によって作物の生育が促進されます。	
セリ科	バセリ												○							作物の生育を促進して、風味を向上させます。	
キク科	マリーゴールド				○	○	○						○					○		花は、作物の害虫が寄り付くのを避け、根は土中に潜むセンチュウを退治し、土に活力を与えます。	
	カモミール						○		○			○								病害虫を防除する働きがあります。	
バラ科	ワイルドストロベリー						○												○	モンシロチョウ、ヨトウムシの食害を防ぐ働きがあります。	
フウロウソウ科	ゼラニウム						○		○	○										マメコガネが寄り付けば葉を食べて死滅し、ヨコバエなどが寄り付きません。	
補足		・ にんにくは、作物全般の土中に発生した病原菌を殺菌し、ほとんどの害虫を寄せ付けない働きがありますが、マメ科の作物やバラ科のイチゴに対しては、効果は期待できないようです。 ・ 虫媒植物は、作物の受粉を助ける昆虫類を寄せ付ける植物の事ですが、表に記載されている品種以外にモナルダ（別名：ベルガモット）は、別名がピーバームと呼ばれている程にミツバチを寄せ付ける効果があります。 ・ ステビアを混植えると作物の糖度が向上します。																			